（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	こどもさぽーとるーむ楽島おかみち

公表日　令和　8　年　5　月　31　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		定員に応じたスペースを十分に設けている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		適切である	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	設備等がわかりやすくイラスト等で掲示したりして示している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こだち達の活動に合わせた空間となっているか。	5		日々の清掃・整理整頓を通して心地よく過ごせる環境を作っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		静の部屋・活動部屋等必要に応じて工夫している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		職員間でミーティングを行い、PDCAサイクルを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者様に評価依頼し、意見を基に業務改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	ミーティングを通して職員間で意見交換を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		第三者による外部評価を実施できていない為今後行っていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		内部・外部等の研修に参加している。	
適切な支援の提供	11	適応支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムを作成し公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		ニーズを踏まえ上で計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		児童発達支援管理責任者を中心に、職員間で情報共有を行い支援計画の作成を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		職員間で情報交換・共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		アセスメントを使用し確認を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のならい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのとて、具体的な支援内容が設定されているか。	5		ガイドラインに基づいて具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員間で様々な意見交換を行い計画している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		固定化しないよう様々な活動を取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別活動・集団活動を適宜組み合わせて支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		打ち合わせを行い支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	翌日に振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		記録の記入を徹底している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的なモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		基本活動を複数組み合わせて、状況に応じて支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		子供達主体の活動等を取り入れて、自己決定できるよう工夫している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者が参加し、関係機関との情報共有を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	モニタリング等を通して、学校・保育園との情報共有を行い支援を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		送迎時に情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	モニタリングや送迎等を通して情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等、引っているか。	4	1		卒業児がいない為、福祉サービス移行の際には情報共有を行いたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		地域の支援センター等との連携がない為今後取り入れていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の色のこどもと活動する機会があるか。	4	1		他事業所との交流はあるが、学童クラブや児童館との交流が中々実現できない為、状況を見ながら交流していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		参加する事ができていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		モニタリングや送迎を通して状況確認を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			研修案内を中々行う事ができていない為、今後周知していきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		児童・保護者のニーズを踏まえて作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		作成後は保護者に確認を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		モニタリング・送迎時または来所時に相談・面談を行い助言と情報共有を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい児も交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者イベントを通して交流できる機会を設けている。	保護者会や意見交換会等を開催できていない為今後開催できるよう体制を整えたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			苦情があった際には迅速・丁寧に対応していきたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1	お便りやSNSを活用して連絡体制を整えている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		鍵付き書庫にて保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		児童の特性に応じて意思疎通の配慮を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	地域のお店や介護デイサービスなどとの交流を図る事ができた。	
非常時等の対応	46	感染防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアルを作成し訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画を策定し必要な訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時に確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		アレルギー成分表をもらい医師に基づく対応を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		必要な研修・訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			周知できていない為今後周知していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			ヒヤリハットがあった際には再発防止に向けて検討していきたい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		内部・外部含め研修を図りている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		契約時に説明し了解を得ていく。	